

STOP！！ 受動喫煙 第2号



発行日：平成30年2月27日

発行：宇部市健康推進課（宇部市保健センター）TEL:0836-31-1777 FAX:0836-35-6533

第2号では、宇部市や山口県の禁煙・分煙への取り組み、受動喫煙の防止に取り組んでいる機関へのインタビュー（山口大学常盤キャンパス）をご紹介します。

ぜひ！あなたの企業・事業所・お店で活用してください！ 市と県の取り組みのご紹介

宇部市や山口県では、禁煙・分煙対策に取り組んでいる、今から取り組もうとしている企業・事業所・お店などに向けて様々な支援を行っています。ぜひ、活用してください。

～宇部市～ 「出前講座—たばこの正しい知識—」

市の保健師があなたの企業・事業所・お店に出張して、たばこの害をわかりやすく説明します！

日時：午前9時～午後9時（年末、年始を除く）

講座の時間：2時間以内

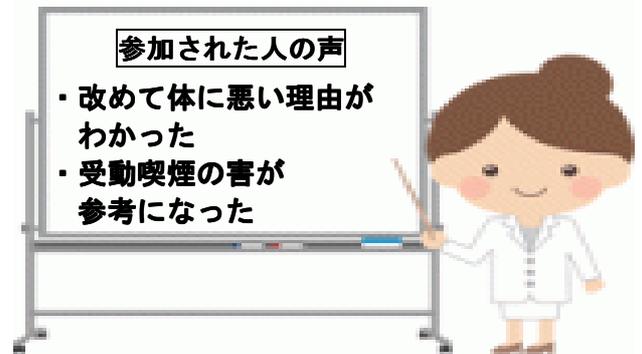
場所：宇部市内であればどこでも

人数：10名以上

費用：無料

内容：受動喫煙やたばこの害についての話

肺年齢測定・ニコチン依存度チェックなど



詳しくは 宇部市ホームページの「出前講座」をご覧ください。

<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/shisei/kouhou/demaekouza/index.html>

お問い合わせ先：宇部市保健センター（宇部市健康推進課） 電話 31-1777 FAX 35-6533

～山口県～ 「禁煙・分煙ステッカーの交付」

山口県では、「やまぐち健康応援団」を創設し、たばこ対策に取り組んでいる事業所等を募集しています。登録を希望する事業所等は、申請すると、登録内容が確認された後に登録証及びステッカー（下図）が交付されます。



敷地内完全禁煙用



施設内禁煙用



完全空間分煙用

宇部市民の7割以上の方は禁煙・分煙対策している店を希望しています（H28市民のたばこに関するアンケート）。禁煙・分煙対策に取り組まれてはいかがでしょうか？

詳しくは 「やまぐち健康応援団」のWEBページをご覧ください。

<http://www.kenko.pref.yamaguchi.lg.jp/ouendan/index.html>

お問い合わせ先：宇部健康福祉センター 電話 31-3200 FAX 34-4121

受動喫煙の豆知識 ～その1～

受動喫煙とは??

煙草の煙には二つの種類があります。

- ①主流煙・・・たばこを吸う人が煙草から吸う煙
- ②副流煙・・・煙草の先端から出る煙

受動喫煙とは、喫煙者本人ではなく、その周囲の人が副流煙を吸い込むことをいいます。



副流煙は主流煙よりも有害な物質が多い!?

タール
主流煙の
3.4倍

ニコチン
主流煙の
2.8倍

一酸化炭素
主流煙の
4.7倍



受動喫煙が原因で肺がんや心筋梗塞を起こして亡くなる人は、年間に**約15,000**人もいます
(国立がん研究センター推計 2015年)

受動喫煙の防止に取り組んでいる機関にインタビュー! 第2回 山口大学 常盤キャンパス



常盤地区喫煙対策ワーキンググループ 主査 酒多喜久さん(左)
保健管理センター 衛生管理者 後藤久美子さん(右)

いつから取り組まれていますか?

平成21年から禁煙対策ワーキングを立ち上げ、受動喫煙対策を開始しました。

当時の状況を教えてください。

当時から施設内禁煙は履行されていましたが、建物の出入口や中庭等、キャンパス内に19か所の喫煙所がありました。「出入口付近の喫煙所から漏れているたばこの煙をどうにかして欲しい」「中庭にある喫煙所の煙が留まり、臭いが気になる」等の苦情がありました。

どんな取り組みを行いましたか?

学生や教職員にアンケートを実施し、その意見を基にキャンパス利用者に配慮した環境に整えていきました。受動喫煙の機会が多い講義棟出入口周辺の喫煙所を集約したり、建物の入口や中庭から離れた人通りの少ないグラウンド横や駐車場付近等に喫煙所を移設しました(移設に伴う費用は約60~80万円)。



写真：人通りの少ない場所に移設した喫煙所

現在、喫煙所は4か所に限られ、以前よりも受動喫煙の機会が大幅に減りました。

喫煙者にはどんな対策を行っていますか?

年に2回、5月と10月にキャンパス禁煙デーを開催しています。事前に喫煙所にポスターを掲示して告知し、当日は喫煙所をテープで巻いて立入禁止にして、喫煙できないようにしています。それでも喫煙をする方もおられるため、ニコチンガムを配布して、禁煙への関心を高める働きかけを行っています。この他にも、禁煙啓発DVDの視聴や喫煙所マップ・喫煙ルールの配布をしています。

これらの取り組みにより教職員・学生の喫煙者は最近5年間で371人から162人に減少し、200人以上減らすことに成功しました。

今後の展開を教えてください。

将来的には、敷地内禁煙への移行を考えており、喫煙者を更に減らしていくために、教育の強化が必要だと考えています。本人の健康だけでなく、受動喫煙により他人の健康にも悪影響を与えていることを啓発していきたいと思えます。

編集後記：長年に渡り受動喫煙対策を地道に進めておられ、キャンパス利用者の健康を守ろうとする「熱意」が伝わってきました。ご多忙の中ご協力して頂いた酒多さんと後藤さんに深謝します。